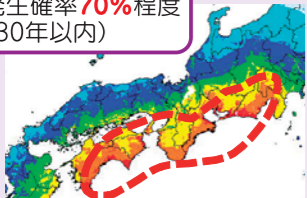


現状と課題

自然災害への備え（南海トラフ地震・集中豪雨）

南海トラフ地震
発生確率70%程度
(30年以内)



南海トラフ想定震源域
出典)内閣府「中央防災会議」資料

中小河川での災害発生リスクが増大
落石やのり面崩壊で生活に影響



(二)内平川(宇和島市)



(主)脇川公園線(西予市)

土砂災害危険箇所 全国14位
土砂災害発生件数 全国平均の2倍



大生院地区(新居浜市)H16

交流と連携

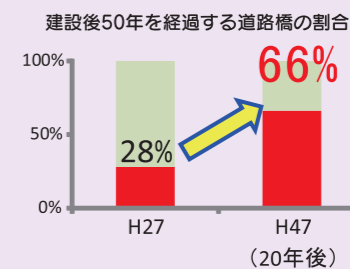
高規格幹線
道路の整備状況



ミッシングリンクが、県内のみならず、九州・中国・京阪神との交流や連携を阻害

高速道路ネットワーク
3つのミッシングリンク

老朽化する社会資本



今後一斉に老朽化を迎える社会資本の維持管理が適切にできず、安全で安心な生活や地域活性化を阻害

施策

○南海トラフ地震に備えた交通網の整備

法面防災対策や橋梁耐震対策、トンネル保全対策などの防災・震災対策を進めます。



(国)378号 法面防災対策(大洲市)

○津波や高潮に強い海岸づくり

津波又は高潮等による被害を最小限にするため、既存海岸保全施設の補強・改良により、人命や背後の住居等財産の防護を促進します。



三崎港海岸(伊方町)

○命を守る土砂災害対策の推進

土石流・がけ崩れ等による自然災害から県民の生命・財産等をハード・ソフト両面で保全します。



上組地区(大洲市)

○洪水に強い人命財産を守る川づくり

集中豪雨・大規模地震等に備え、治水対策や堤防・水門等の地震・津波対策などを実施します。



(二)宮前川(松山市)

○ひと優先の道路交通環境整備

通学路の危険箇所対策、自転車歩行者道や歩道、交差点の改良など、児童・生徒や高齢者が安心して通行できるみちづくりを目指します。



(主)壬生川丹原線(西条市)

○木造住宅の耐震化

市町と連携して『木造住宅耐震化促進補助事業(1戸あたり100万円超)』を行っています。さらに、大半の市町で耐震診断派遣制度を導入します。



補強例:筋かい追加・接合金物追加

○広域的な交流や地域間の連携を支える道路ネットワークの整備

南予延伸をはじめとする高速道路や松山外環状道路等の整備を推進します。



宇和島道路(宇和島市)

○地域社会を支える海上輸送サービスの確保

国際物流ターミナル等の整備により、地場産業の競争力強化や地域社会の活性化を支えます。



(重)東予港中央地区(西条市)

○社会資本の老朽化対策

県民生活への影響が大きい道路橋を皮切りに、計画的な施設の長寿命化に取り組んでいます。



例:老朽化の進行した床板下面

○国体会場となる総合運動公園の整備

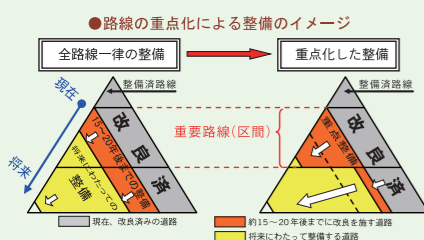
平成29年のえひめ国体では、総合開・閉会式や、陸上、テニス、弓道、体操競技が開催されます。



愛媛県総合運動公園(松山市・砥部町)

取組方針

重点化



限られた予算で、最大の効果を出すため、緊急性の高い箇所等に重点化します。

ハードとソフトのベストミックス

ハード対策(砂防堤整備) + ソフト対策(砂防学習会等)



(砂)中須賀川(西予市)

県民の安全・安心の確保や地域活性化等のため、ハード対策とソフト対策を組み合わせた施策を実施します。

県民との協働・連携

県民による地域社会づくりを進めるため、情報等の提供に努める他、社会活動へ積極的に参加できる環境づくりを進めます。



東予港海岸(西条市)

既存ストックを有効活用するための適切な維持管理



維持管理・更新費用の増加が予想されることから、既存の社会資本ストックを有効活用し、適切に維持管理するため、メンテナンスサイクルを確実に実施します。